

愛知県立半田高等学校

スーパーサイエンスハイスクール事業の広報

# SSH通信



Vol. 3 2021.7.9 SSH 部



## SSH 委員の声

### ～サイエンスコミュニケーション～

2 学年生徒

僕は過去に 4 回、サイエンスコミュニケーションに参加したことがあります。1 回目は中学 3 年生の時に、志望校であった半田高校で催されている行事ということで、高校のことを知るため、また自分の視野を広げるために、参加をしてみました。その時のテーマは「巨大加速器で探る素粒子と宇宙のはじまり」と、いかにも難しそうなタイトルで、理系科目の苦手な僕は少し不安もありました。しかし、講師の先生が、誰にでも分かるように工夫して話してくださったので、楽しく、深く学ぶことが出来ました！その後から、僕はサイエンスコミュニケーションが開催される度、可能な限り参加するようにしています。自分の知識が増えることの嬉しさや、そこで学んだことが授業などで出てきた時の喜びが感じられるからです。サイエンスコミュニケーションは半田高校だからこそ出来る貴重な経験だと思います。皆さんも是非参加してみてください！

※裏面に第 2 回の詳細あり。



## 愛知県教育委員会からの指導内容

### ～SSH 成果発表会～

愛知県教育委員会 中村羊大 様

半田高校の生徒の皆さんへ

素晴らしい学習環境で、それぞれがそれぞれの学び（個別最適な学び）と、互いが互いを刺激し合う学び（協働的な学び）を先行して進められていることを拝見し、感動しています。

私自身も半田高校と同様、「いなか」の進学校で育ちました。高校時代から自然科学に興味・関心のあった自分ですが、当時は海外で研究発表する機会などありませんでした、皆さんが本当に羨ましいです。自分も、大学に入ってからには普通に英語で論文を書いていましたし、教員になってからは、例えば半田高校と同様の SSH 校の海外研修等で英語を使う機会に恵まれました。

もと理科の先生だから言います。「英語」も「情報」も大切です。それらを究める人はもちろん、道具として言語や情報を用いる人にとっても、とても大切なツールだと思います。皆さんの発表の中で「企画」というキーワードが数多く聞かれました。高校生の皆さんにとって、何か世界を変えるために「企画」したいことはありますか。実現可能なものでも、荒唐無稽なアイデアでも構いません。皆さんの柔軟な発想が、世界をよりよい世界に変えていく力になると思います。

SSH 自然科学部の長期研究はさすがです。継続は力なり。持続可能な未来のために、高校で研究の基礎を学び、大学で修行を積み、その先の大学院や企業で活躍されることを祈念いたします。

## 第 2 回サイエンスコミュニケーション参加申込について

〆切： 7 月 16 日(金)

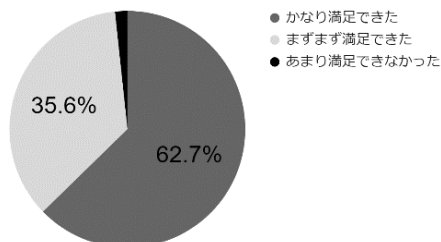
参加希望者は担当の先生まで



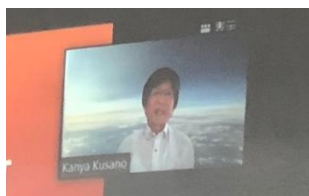
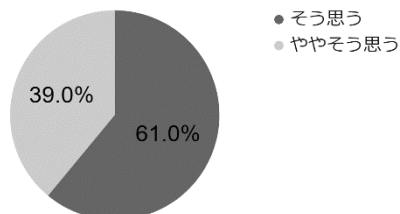
## データ分析

### ～第1回サイエンスコミュニケーション～

「サイエンスコミュニケーションに参加して」



「今回の講演に参加して、理科に関する興味・関心が高まった」



**参加者の9割以上が講演に満足し、理科への興味・関心が高まるという結果が出ています！**



## 参加生徒の声

### ～第1回サイエンスコミュニケーション～



・宇宙の話と聞くととも私たちの生活に関わりがないように思っ

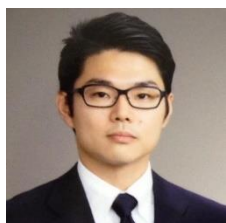
ていましたが、講師の先生のお話を聞いて、関わっていることがわかりました。

・今まで、専門的な講義に参加する機会があまりなかったで、良い経験になりました。自分とは遠く離れた世界の話が、実は身近な問題になっていることが興味深かったです。

・夢が見つからない私にとって、このような仕事も面白そうだなと思える素敵な経験ができました。

・最初は難しく理解できないんだろうな、と思っていたけれど、先生の話はとても分かりやすく面白かったです。講義のあと学校の理科の便覧を開いて、太陽のところを読んでみました。講義のおかげで内容がすっと入ってきました。

## 令和3年度 第2回サイエンスコミュニケーション



講師

**松尾 信一郎** 准教授  
名古屋大学大学院  
多元数理科学研究科

7月20日(火)14:00～16:45

会場：半田高校 七中記念館

受付 13:30～

講演 14:00～15:30

交流会 15:45～16:45

(交流会は自由参加)

## 無限から無限を引いて無限で割ったら、無限か？

<講師からのメッセージ>

私は横浜出身なのですが、横浜にはランドマークタワーという高い建物があります。ランドマークタワーの展望台からの初日の出は見事なものです。

高校生のとき、初日の出を待つ長い列に並びながら展望台の床で本を読んでいた。その本には、「無限には無限に種類があって、それはカントールの対角線論法でわかる」と書いてありました。電撃が走りました。対角線論法が琴線に触れたんです。初日の出は見逃しました。

そして、その正月から、私は無限のことが気になって気になって仕方ありません。結局、数学者になりました。若さは無敵です。

